

恋愛編

恋人、嫁と出会いたい

6年間で13組成婚した読書会

06年の会発足以来、恋愛関係に発展したケースは数知れず、13組ものカップルを結婚へと導いているのが「婚活倶楽部」の読書会。

「初対面の人との会話が一番難しいのは、話すきっかけと共通の話題探しですが、読書会は課題本があるおかげで、そのどちらも簡単にクリアできるんです（代表の山本多津也さん）との言葉を信じて、記者I（る）は参加を決意した。この日の参加者は20〜30代を中

心に136人で、半数以上が女性。そこから1組8〜10人にグループ分けされてスタート。順々に自己紹介していき、その後それぞれ本の感想を語り合う。

今回の課題本は人文系のお堅い本だったが、「この文章で女性はキエンときちやうと思います」なんて隣の女性が発言していたように、自身の仕事や恋愛に絡めた意見が多く、みんなそれほど小難しいことは言わず和気あいあい。



婚活倶楽部 URL: <http://www.meetomachi-chiba.com/> 月2回開催される。この日の課題図書は「夜と霧」。だつた。唯一のルールは「相手の意見を否定しない」とこと

だが常に誰かが発言しているから、隣の女性と2人で会話するこ

婚活をアシストしてくれるスナック

スナック、それは中高年男性が色っぽいママ目当てに通う憩いの場……と決めつけるのは早計だ。新橋にある「aerol」では普通のスナックのように飲むこともできるのだが、何とお店が婚活をサポートしてくれるという。

「まず登録者のプロフィールファイルを一覧いただけます。その中で気に入った女性がいれば、相手方にもお会いするのがOKかどうか確認を取り、日時を調整していきます」（うららママ）

会員登録は手数料と年会費合わせて5250円。来店時には通常

のセット料金（3000円/90分）といった飲食代はかかるが、それ以外の紹介料などは一切なし。

「先人観を取り扱うために、ファイルにはあえて顔写真は載せていません。ただファイルの情報で気になった異性がいれば、顔写真カードをお見せしています」

さつそく記者S（る）も登録。登録者数は男女合計100人以上で、女性は20代後半〜40代が大半。

さて、ファイルと顔写真カードから1人選び、いざ申し込み。後日、携帯に届いたママからのメールには……女性側もOKとの

内容がリ。そして調整した日時に再びスナックに足を運び、店内の隅つこの席でご対面。

「はじめまして。写真とおおり、おキレイですね」

記者が申し込んだのは、旅行が趣味という同い年の清楚系OL。

こんな女性から55歳まで相談

婚活相談所でも活動経験のあるうららママが、当時のソウハチを参考に「55歳まで婚活」プロフィールファイルを開発し、ほかマママに「このころで機に合いますかね」となご相談してみよう。



とができない。クソ、これじゃ恋仲的な急接近は困難だ。

読書会が終わると懇親会会場へ移動。ん、懇親会！居酒屋で行われる懇親会には毎回参加者の8〜9割が参加するという。

「僕、初めてで緊張しちゃって」「私は3回目ですけど、来ることに楽しくなっていますよ」

最初は読書会時のグループのまま席に着くので、読書会で温まった空気とお酒の後押しで、口下手な記者でも女子と自然に会話が、

しばらくすると自由移動タイムに。本、漫画、歴史、旅行などテーブルごとに話すテーマが設定されるため、僕は漫画の話がしたいからここに座る、という大義名分ができるのもありがたい笑。

この対面時の高揚感悪くないぞ。「僕は東南アジアやインドを一人で旅行したことがあります……うんたらかんたら……」

「はあ、そうなんです（苦笑）あれ、反応がイマイチ。そうこうしてるうちに営業時間が終了。断れない人もいるため、その場で連絡先交換は禁止。連絡先を教

プロフィールと性格の両方をもっと選ぶ



年齢・職業・住まい・趣味・自己PR・相手への希望などが細かく載っている

そんなこんなでへたれ記者でも3人の女性の書き手ゲット。かなりお膳立てされたイベントだった。



懇親会で仲良くなった方々々と大学のサークルのような雰囲気を感じ

真心にかえて「仲良くなれるのがリアル脱出ゲーム」

この1〜2年で参加者が爆発的に増え、注目を集めているのがリアル脱出ゲームだ。ゲームといってもVRゲームではなく、生身で体験するイベント。初対面の参加者同士がチームを組み、閉じられた空間から脱出することを目指す。部屋にわりはめられた暗号を解いたり、謎の道具を駆使して、次々と難問を解いていく。これによつて、参加者同士が非常に仲良くなれるというのが、今回のイベントを主催する「スロウコア」広報の伊藤綾子さんが解説してくれた。「ゲームを進めるためには、相談